

令和7年度中野市社会就労センター運営委員会次第

日時：令和7年6月25日（水）午前9時30分

場所：中野社会就労センター

出席委員：上田委員、滝澤委員、水野委員、丸山委員

事務局：中山部長、池田所長、小林所長補佐、町田主事

1 開 会

池田所長

2 あいさつ

中山部長：中野社会就労センター及び豊田社会就労センターの運営に関する事項を審議するためにお集まりいただいた。本日の会議では、作業の受託状況や施設の概要について説明する予定。今後も地域の中で、就労センターとしての役割が果たせるように事業を展開して参りたい。

3 人事通知書の交付

中山部長から委員へ交付

4 自己紹介

上田委員、滝澤委員、水野委員、丸山委員、小林所長補佐、町田主事

5 会長の互選について

池田所長：中野市社会就労センター条例第10条第1項の規定により、委員の互選により定めることとされている。どなたか意見があればお願いしたい。

水野委員：滝澤さんが良いと思います。

池田所長：ただいま、水野委員から滝澤様をお願いしたいとのご発言がございましたがいかかでしょうか。

全委員 異議なし。

※滝澤委員承知。

6 協議事項（滝澤会長進行）

議事進行：滝澤会長

（1）受託状況及び施設の概要等について

池田所長：資料に添って説明

- ・受託状況の主は、中野・豊田ともにプラスチック製品やキノコキャップの清掃・組み立て。
- ・事業収入について、H21年度から比べると大きく減少しているが、原因として考えられるのは利用者の数が減少していること、企業からの仕事が減少していることがある。
- ・各支援については、利用者の技能に応じた作業の提供、就労継続の支援、個別相談や支援会議を開催している。
- ・防災訓練について、年に2回のうち、1回目は消火とAED2回目は、土砂と水防に向けた訓練を実施する予定である旨説明。

- ・ 苦情解決のための第三者委員を設置しているが、苦情等はない。
- ・ 今後取り組むべき課題として、衛生管理、業務継続計画について職員研修や訓練を実施する予定である旨説明。
- ・ 都市建設課から隣接している西条倉庫を引継ぎ、駐車場を拡大する工事を予定している旨説明。

【質問】 上田委員：中野社会就労センターと豊田社会就労センターの工賃の差はどのような理由か。

小林補佐：今までは、中野プラスチック工業からいただく仕事が大半だった。昨年7月に中野プラスチック工業から仕事が落ち込む話は聞いていたが、月20～30万円ほど仕事をいただいていたところ、今年の1月からぐっと仕事が落ち込み、今年の6月分は2100円ほどとなっている。

新たな仕事を見つけてはいるが厳しい。現状作業効率が悪いこともあってなかなか厳しい状況にある。

上田委員：承知した。

4 その他

町田：今回ご参加いただいた会議の報酬については、7/4振込予定。

中山部長：令和7年度に実施する倉庫等設置工事については、西条倉庫を取り壊し駐車場を拡大する予定で、現在設計段階。今年度中に完了予定である旨説明。

5 閉会

- ・ 会議終了後、希望者は中野社会就労センター作業所内を視察。